自然と文化に抱かれた美しきふる里

平成17年9月、中条町と黒川村の合併によって誕生した胎内市。豊かな自然、日本有数のチューリップの産地として知られる他、恵まれた環境が育んだ「胎内黒豚のハム」や「胎内ワイン」といった特産品も。また日本初の米粉専用の製粉工場がつくられたことから『米粉発祥の地』とも言われ、「ショコラ胎内」などの米粉製品が人気を呼んでいる。

胎内市

新潟県の北東部、飯豊連峰を源とする胎内川を中心に東西に広がる。
海、山、里が一体となる豊かな自然と、先人たちが築いた歴史文化が融合する観光スポットも多い。
アクセス：日本海東北自動車道中条IC、荒川胎内IC、JR羽越本線「中条駅」利用

胎内市の見どころ

●乙宝寺
元和6（1620）年に建立され、国の重要文化財に指定される三重塔をはじめ、弁天堂、観音堂、お釈迦様の左目が納められているという宝物殿など、見どころが多い。
問／乙宝寺
TEL0254-46-2016

●米粉かふぇ
米粉でできた生地に、胎内産の豚肉や野菜を挟んで食べる新グルメ『たいないべえべえ』が食べられるお店。他にもパンやケーキといった米粉メニューも。
問／中条グランドホテル1F 米粉かふぇ
TEL0254-43-6060
営／11:00～14:00、水・日曜休

写真は加工用ぶどう畑

●新潟フルーツパーク
国内有数の耕作面積と急斜面で育った良質なぶどうを全て市直営ワイナリーで加工。ワインにして販売する他、7月はブルーベリー狩り、9月にはぶどう狩りも。
TEL0254-47-3363
営／9:00～16:00、土・日曜休
（ブルーベリー、ぶどう狩り期間中は月曜休）

●JA中条町ふれあい直売所
「安全・安心・新鮮」をモットーに、生産者と消費者を結ぶ。採れたての地元産野菜や切花が並ぶ店内では、生産者による旬の食材を使った簡単メニューも。
TEL0254-43-7402
営／平日 9:00～18:00、
土日祝 9:00～17:00
（冬期間は変更あり）年末年始休

庭に広がる紅葉とおもてなし料理

鎌倉時代から八百年以上続く庄屋・石黒邸。平成十一年三月、築百四十年の家屋を開放してランチとディナーが楽しめる『味楽庵』としてオープンした。「お米は柏崎産のコシヒカリ、野菜は柏崎伝統野菜をはじめ、旬の地場産食材をそろえています」とオーナーシェフの石黒美和子さん。敷地面積一万坪、建坪二百坪の館内には昭和期に活躍し、吉田茂邸を建てた建築家・吉田五十八による奥座敷も。裏庭には樹齢百年を超える紅葉があり、秋の味覚とともに錦秋の庭が堪能できる。要予約・貸切で「組二名から十五名まで。予約の際、「うまさぎっしり新潟コース」と伝えれば、ランチが二千八百円に。

旬のおまかせコース
昼●3,000円～5,000円
夜●5,000円～12,000円
※いずれも税込・飲物別

別途注文できるデザート
『けいらん（白玉まんじゅう）』

オーナー
石黒美和子さん

かやぶきの家で食べる懐かしいおふくろの味

「日本の棚田百選」に選ばれた田園風景が美しい柏崎市高柳町。荻ノ島地区では茅葺の家が集落を成し、「かやぶきの里」の一軒（荻の家、島の家）で婦人会のおかあさんたちが調理を担当し、宿泊やランチを提供している。「柏崎野菜の品目以外にも荻ノ島でとれた野菜や山菜を使ったヘルシーな料理をふるまっています」と中村美枝子さん、重野富枝さん。県内をはじめ、全国から多くの方々が訪れ「若い人も『身体が生きかえる』と言ってベロリと平らげていかれますよ」と。囲炉裏の周囲いっぱいに並んだ郷土料理は懐かしいおふくろの味。新鮮な食材に加え、愛情たっぷりの味わいが自慢だ。

地場野菜をふんだんに使った料理
ランチ 1名 2,100円（税込）
（5名以上1組限定） 施設利用料／1棟1時間1,000円

婦人会
重野富枝さん
中村美枝子さん

荻ノ島 かやぶきの里
TEL.0257-41-3252（荻ノ島ふるさと村組合） 柏崎市高柳町荻ノ島1090-2
宿泊・ランチ予約受付●8:00～12:00 休●火曜 収容人数●荻の家9名、島の家6名
宿泊●荻の家 施設利用料1棟／1泊 25,000円（食事 2食1名 3,000円／税別）
島の家 施設利用料1棟／1泊 18,000円（自炊棟／税別）

おもてなし・家庭料理 味楽庵（みらくあん）
TEL.0257-28-2116
柏崎市矢田877
営業時間●11:30～15:00、17:00～21:00
休●不定休
席●15席（座敷・離れ）

Sole!にいがた 応援企業

新潟・両津間を運航するジェットフォイル『つばさ』。佐渡汽船には、他に2隻のジェットフォイルとカーフェリー『おけさ丸』『おおさど丸』、直江津・小木間の『こがね丸』、寺泊・赤泊間に就航する高速船『あいぴす』がある。

佐渡汽船株式会社

本社／佐渡市両津湊353番地
TEL0259-27-5174
新潟事務所／ 新潟市中央区万代島9番1号
TEL025-245-2311
http://www.sadokisen.co.jp

《会社概要》
●新潟・両津間、直江津・小木間、寺泊・赤泊間を結ぶ旅客・自動車・貨物の輸送を行う定期航路事業 ●佐渡島民の生活航路、観光客の交通手段として、公共性の高い海上運送を担う。

「運ぶ」から「楽しい船旅」へ
交流拠点、新潟港が朱鷺のごとく羽ばたくために。

佐渡に暮らす人々の生活を支える航路として、また観光・文化・経済交流を担う定期航路として佐渡汽船は大正二年の創業以来、常に安全で快適な船旅を心がけてまいりました。平成十九年から始めた増資、分社化、減便といった組織の合理化も功を奏し、現在、顧客サービスの向上、接客の改善、営業の活性化に全社を挙げて取り組んでおります。

「運ぶ」から「楽しく過ごす船旅」へ。船内での時間を有意義に過ごしていただくために、当社では全社員一丸となってお客様の旅の思い出づくりに知恵を出し、汗を流します。また、公共交通機関としての社会的責務を果たし、結果として、地域貢献につながるよう務めてまいります。

春は花、夏は海、秋は紅葉、冬は味覚と実に多くの観光資源に富み、能をはじめとする伝統芸能や名所・旧跡、数々の歴史的文化財を有する佐渡島。『佐渡金銀山遺跡』がユネスコの世界遺産暫定リストに登録される」方で今年、佐渡地域が先進国で初めて国連食糧農業機関（ＦＡＯ）の「世界農業遺産」に認定され、朱鷺米に代表される農産物や伝統農業が世界中の注目を集めています。

佐渡ばかりでなく、農業は新潟県にとっても経済の根幹を支える大切な産業の一つです。今後は農・商・工が連携した六次産業化をはじめ、あらゆる活動が新潟に活力を与える起爆剤となっていくでしょう。そのような中で、新潟港もますます注目され、中国・ロシアに向けた環日本海交流の拠点港として発展。近い将来、当社も世界へ向けた交流に協力しているかもしれません。今後は一層、新潟県、新潟市、佐渡市をはじめとした行政との連携をはかり、佐渡島内に新たな宿泊施設や滞在型の観光施設を誘致するなど、観光ビジネスに貢献するサービス業の使命を果たしてまいります。佐渡、そして新潟の発展のため、ふるさとが朱鷺のごとく羽ばたくために最大限の努力を続けていく所存です。

佐渡汽船株式会社は農・商・工をつないで新潟の産業を元気にする『Sole!にいがた』を応援します。

代表取締役社長
小川（おがわ） 健（たけし）